

活動記録書

開催日： 令和元年9月13日(金) 曇	開催テーマ： 「曹洞宗大本山總持寺を参拝」
開催場所： 總持寺	記入者： 金久保 常二
参加人数：	
会 員	男 25名 女 10名 計 35名
ビジター	男 1名 女 1名 計 2名
合 計	37名
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：京急鶴見駅改札前（集合）～成願寺～本山駅跡～總持寺（伽藍拝観/三松閣（昼食）/伽藍拝観 /著名人墓地）～東福寺～花月園跡（解散）～京急花月園前駅	
<p>京急鶴見駅から出発。成願寺へ向かう。一風変わった真っ赤な仁王像が迎えてくれた。寺宝として十二神将を所蔵し、古くから東海道沿いの秘仏として篤い信仰を集めていた。明治40(1907)年大本山總持寺が移転を決めた際、境内全体を寄進した。現在の總持寺存続に大きく貢献している。</p> <p>次に本山駅跡へ。駅名の由来は、近くに總持寺が存在するが、總持寺は曹洞宗の大本山であり、その本山を取って駅名とした。隣駅の国道駅と同様、付近の建築物の名前から採用している例である。</p> <p>次は壮大な寺域を持つ曹洞宗大本山の總持寺である。門前に立って目に飛び込んでくるのが「三樹松閣」と書かれ扁額の総門である。総門をくぐり150m程進むと山門です。鉄筋コンクリート造りでは、日本一を誇る。次に小高い丘陵に大梵鐘がある。大正2(1913)年に鑄造され、関東一の大きさを誇る。丁度11時の時を告げていた。三松閣、向唐門(改修中)香積台などを見学する。そして精進料理の昼食及び座禅体験まで雲水に案内頂いた。終了後、二班に分かれて、雲水ガイドで伽藍及び伽藍をつなぐ回廊を巡り解説をして頂く。香積台(入場した伽藍)は14:15頃に出発する。敷地内にある墓地には浅野総一郎や石原裕次郎をはじめ、多くの著名人が眠っていることでも知られている。墓所は極めて広大であるが、無事に著名人のお墓に参拝する事が出来た。</p> <p>次の東福寺に向かう。その山門50m位手前の一角には柵に囲まれた石碑がある。この中に芭蕉「観音の薨みやりつ花の雲」句碑がある。また、小さなお堂が有り、三途の川を渡る人から衣服を奪う奪衣婆の像がおさめられていた。ちょっと恐ろしそう・・・。</p> <p>次の東福寺は寛治元(1087)年醍醐寺の勝覚僧正の開創と伝えられており、真言宗智山派に属している。本尊は子育て観音で知られる如恵輪観音で子年毎にご開帳されている。江戸時代には参詣者が多く、門前では子育て饅頭が売られ、鶴見名物の一つに数えられていた。</p> <p>東福寺から元の坂道に戻り、20m程坂を下り右手に入った所が花月園競輪場跡地である。当初は子供の夢や心を育てる遊園地の必要性を感じ、花月園として大正3(1914)年に開いたが、昭和21(1946)年に閉鎖した。その後昭和25(1950)年に当時日本一の競輪場が開設されたが平成22年に60年の幕を閉じた。現在大規模工事が行われており何年後かには、また違った姿となり新しい街が出来ることと思われる。花月園跡前で解散挨拶を行い、京急花月園前駅より帰路へと向かった。</p>	
参加者の状況・意見など：	
<p>今回のハイライトは總持寺。「精進料理及び座禅体験」の組み合わせ。普段の生活から離れて静かな時を過ごすことができ、自己を見つめ合う時間を作ることが出来たと思います。特に正式参拝は普段体験できないことで、今回の企画に称賛の声もあったようにも伺っている。</p>	
<p>次回の予定： 令和元年10月3日(木) 箱根登山鉄道 箱根板橋駅 10時 テーマ「小田原城周辺の寺社を巡る」</p>	